

進路だより‘一期一会’

～ 結果やいかに！ 第1回実力テストが終わりました！ ～

さあ、テストの幕開けです！ 中学三年生の一年間は、月に最低一回は、実力テストや定期テストといった大きなテストがあると思って下さい。どれもこれも自分の進路に関わってくる大事なテストになります。一つ一つのテストに、その時の最大の労力と集中力を発揮できるように、まず、体力をつけておくことと、毎日毎日のコツコツとした努力を積み重ねるという習慣を身につけておいてほしいと思います。そして、終わった時、ただ悔しがるだけでなく、“何がいけなかったのか” “何が足りなかったのか” “どうしておけばよかったのか” “どうなりたかったのか” “なぜできないのか” ということを手問自答してみしてほしいですね。人は、自分以外の人やものに責任転嫁したがる生き物です。まず、自分にその矢印を向けて下さい。その勇気を持つことこそ、次への飛躍につながる第一歩です。ぜひ、‘一期一会’の気持ちを忘れずにいてください。そして、最後に自分の希望が叶って、笑える日が来ることを夢見てきつことも頑張っていきましょう。



～ おしらせです！ Check it out！ ～

「令和5年度入学生用 三重県立高等学校を目指すあなたへ」というリーフレットを全員に配布しました。県立高校の入試日程や選抜方法をわかりやすくコンパクトにまとめた県立高校の入試案内になっています。（詳しくは三重県教育委員会のホームページに掲載されています）担任の先生も懇談等で、県立高校を説明するために、このリーフレットを利用することがあると思いますので、ぜひ、ファイルに綴じておいて、必要に応じて、適宜活用して下さい。最後のページにQ&Aが載っていますので、自分が疑問に思っていることであれば、ぜひ参考にしてみてください。

～ “あなたの質問に答えます！”コーナー ～

先日、“進路についてわからないことや聞いてみたいことがあれば、遠慮なく書いて下さい”ということで、募集をしたところ、たくさんの質問や疑問を出してもらいました。今後、この‘進路だより’を通じて、その返答を書きたいと思っています。少しでも、進路について、わからないことがなくなっていきようにしていきたいと考えています。では、始めましょう！

自分はまだ将来の夢がないから、普通科に行くという考え方はだめですか。

*それはそれでいいと思います。普通科の学校生活自体は、中学校とほとんど変わりがないので、入学しても違和感はないと思います。高校の3年間を、中学校までの学習をさらに深めて、その先のことを考える時間にすればいいと思いますよ。逆に、普通科以外の科に進むと今まで勉強したことのない教科を学習することになり、その分野に興味がないと、“こんなはずじゃなかったのに” “っていう思いになって、学校に行くのが嫌になったり、やる気がなくなって、学校生活が全然楽しくないってことになってしまうかもしれませんね。ただ、将来の夢がある方が、自分の進む道がよりはっきりしてくると思います。色々な人と話をして、客観的に‘あなた’という人を見てもらって、アドバイスをもらうのもいいかもしれませんね。

何月までに高校を決めないといけないんですか。最終的には、いつ志望校を確定すべきですか。

*進学希望の学校や目標とする学校は、早いうちに候補として持っておいてほしいですが、現実的なことを考えると、自分の成績がはっきりしていなければ、合格する可能性が大きいのか、小さいのかを判断しずらいですね。10月の初めに、前期の成績が出ます。そして、11月の中旬に後期の中間テスト（3年生は9教科になります）があって、その後、11月の下旬に、前期選抜と私立高校の出願書類に記入する成績（合格・不合格の判断材料になる）が出ます。それを受けて、12月の中旬に三者懇をして、前期選抜や私立高校を受けるという人は、願書を書いてもらうことになります。

ですから、10月に前期の成績が出たら、それを踏まえて、行きたい学校、受験するつもり学校を絞っておいて、11月に入ったら、下旬に出る成績で最終決断ができるようにしておいてほしいですね。県立高校の後期選抜については、最終決断は、私立高校の入試が終わった後になりますが、遅くとも11月には、自分の行きたい学校（県立高校なのか、私立高校なのか、高等専門学校なのか）と自分の受験する流れ（県立高校に行きたいので、私立を併願受験するか、私立高校に専願受験するか）が決まっているようにしてほしいですね。ぎりぎりになって、焦って決めてほしくないなので、今からでも少しずつ考えていってほしいのですが、結局、最終判断をする材料として見るのは、学校の成績であったり、実力テストの結果であったりするので、そこを伸ばしていけば、自ずと進路は決まってきますよ。